

「来て、見て、知って！昔のくらし」

＜実施概要＞

I. 概要

1. 実施期間

令和8年1月6日（火）～令和8年3月1日（日）

※学校ごとに利用可能な日時は、休館日ではない平日の火・水・木・金曜日の午前・午後です。

※土・日・祝日は一般公開日のため、学校利用はできません。

※詳細な日程は、同封した「令和7年度 来て、見て、知って！昔のくらし予定カレンダー」をご覧ください。

2. 対 象

区内の公立・私立小学校の3年生
（社会科で「市のうつりかわり」を学習する学年）

3. 趣 旨

博物館では、小学校3年生の社会科の小单元「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」に合わせて、昔のくらしを紹介する民具や古写真等の展示を行っています。展示と体験学習を通して、昔の人々の暮らしぶりや時代による生活とまちの様子の変化を学ぶ機会を提供します。

4. 内 容

展示見学および体験学習

※詳細は「Ⅱ.展示見学」・「Ⅲ.体験学習」をご参照ください。

5. 実施時間帯

午前の部 …… 9:00～12:00

午後の部 …… 13:00～16:00

※上記の時間帯で、所要時間にあわせて設定していただきます。

6. 最低所要時間

展示見学と体験学習は1クラスずつ実施し、休憩をはさんでプログラムを入れ替えます。

[1クラスの場合]→A・Bパターンのいずれかをお選びいただけます。

[2クラスの場合]→自動的にBパターンとなります。

[3クラスの場合]→自動的にCパターンとなり、常設展示見学が加わります。

[4クラス以上の場合]→3クラスに編成のうえCパターンでのご見学をお願いします。

※3クラスに編成後、1クラスあたりの人数が45名を超える場合は、2日間にわかれてのご来館をお願いします。※その場合は、クラス編成を変える必要はありません。

パターン	A（展示見学・体験の どちらかのみ）		B（展示見学+体験）		C（展示見学+体験 +常設展示見学）	
クラス数	1クラス		1・2クラス		3クラス（4クラス）	
実施手順	来館、挨拶など	5分	来館、挨拶など	5分	来館、挨拶など	5分
	展示or体験	45分	展示or体験	45分	展示or体験or常展	45分
	移動、挨拶、退館	5分	（移動・休憩）	10分	（移動・休憩）	10分
			体験or展示	45分	体験or常設or展示	45分
			移動、挨拶、退館	5分	（移動・休憩）	10分
所要時間					常設or展示or体験	45分
					移動、挨拶、退館	5分
	55分		1時間50分		2時間45分	

Ⅱ. 展示見学

1. 題 名 「来て、見て、知って！昔の暮らし」
2. 場 所 特別展示室
3. 趣 旨 子ども達が多く資料を見られるように配慮し、自ら調べ、考える場を提供します。
4. 内 容 「時代」をキーワードにした 3 部構成。資料の展示だけではなく、北区の各地域と時代を象徴するような写真や地図パネルを展示し、町なみや暮らしの移り変わりを視覚的に理解できるように紹介します。

5. 展示構成 「時代」をキーワードとした 3 部構成

※各ゾーンの名称は仮称・展示予定資料などは変更となる場合があります。

I. 道具と生活のうつりかわり 100 年位前：すごく昔の暮らし

北区域にもまだ田畑が広がっており、現在のような電気・ガス・水道が当たり前ではなかった時代の生活用具を中心に展示を構成。「カマド」や「車井戸」などを通して、人々の暮らしが人々による作業が中心だった時代を紹介します。〔展示予定資料〕カマド、車井戸、ひき臼など

Ⅱ. 道具と生活のうつりかわり 70 年位前：北区ができた頃の暮らし

北区ができた 70 年位前の暮らしを展示の中心にし、北区域に電気やガス・水道などが普及し始めた大正時代末から終戦直後くらいまで使用されていた生活を紹介します。昔ながらの暮らしが少しずつ都市型の生活に変化していく様子を展示します。

〔展示予定資料〕ポンプ井戸、共用栓、ガスコンロ、ちゃぶ台、火鉢など

Ⅲ. 道具と生活のうつりかわり 50 年位前：日本が豊かになってきた頃の暮らし

高度成長期～昭和 50 年代の生活用具を展示し、電化製品が急速に普及し、現代的な生活様式が一般化した時代を紹介します。〔展示予定資料〕ダイニングテーブル、集合住宅の流しなど

6. 見学手順（時間配分事例）

①見学上の諸注意	5分
②自由見学	30分
③全体のまとめ・質問の受け答え	10分
計 45分	

※②、③の時間配分や進行方法については相談に応じます。ただし、全体で45分を越えることはできません。（1 クラスの場合は60分まで調整可能。）

7. 備考

- ・展示の理解促すため、児童向けの解説リーフレットがあります。事前打ち合わせまたは交換便にて人数配布します。
- ・事前配布のリーフレットはワークシート形式ではないため、ワークシート等が必要な場合は学校側でご準備ください。

Ⅲ. 体験学習

1. 趣 旨

展示見学が昔の生活道具の調べ学習に対応するのに対し、体験学習では、昔の日常生活を「やってみる」ことを通して、昔の人々の生活の知恵や苦労を知り、体感的に時代の変化を学び取ることができます。

2. コース名・学習テーマ ※内容・時間配分等は次ページ参照

コース名	かまど体験	せんたく体験	ふろしき体験
実施曜日	火・水・金曜日	木曜日	水・木曜日
※お申し込みの際に、学校単位でいずれか1コースを選択してください。 ※曜日によって体験できるコースが異なります。ご注意ください。			
体験のねらい	かまど・七輪の体験を通じて、電気やガスの無かった頃の燃料のリサイクル等についての考察。	水道や洗濯機が無かった頃、どうやって水を手に入れ、洗濯をしていたのかを作業を通じて理解し、当時の生活の知恵や苦労を体験。	色々な形の異なる物を包み、結び、運ぶ、ふろしき体験を通じて、昔の人の生活の知恵を学習。
SDGs 該当項目	 	 	 
学習の特徴	★全員が同じ体験をすることで、知識や技術の共有ができます。 ★かまどのセッティングが済んだ状態から体験がスタートするため、成功体験の習得率が高まります。 ★燃料のリサイクル等についての解説を聞き、自ら考える学習ができます。	★全員が同じ体験をすることで、知識や技術の共有ができます。 ★物を大切に使う昔の人々の知恵を学びます。 ★昔の生活と今の生活を比べて、いかに便利になったのかを実感できます。 ★2人1組で体験を進めるため、じっくり作業ができます。	★全員が基本のむすび方（真むすび）を学ぶことができます。 ★色々な形の違う品物を一枚の布で包む、古くからの日本人の知恵を学びます。 ★包む機能だけでなく、ものを運搬する道具としてのふろしきの機能も体感できます。

3. コースの具体的な内容

実施曜日	火・水・金曜日	木曜日	水・木曜日
コース名	かまど体験	せんたく体験	ふろしき体験
コース 編成	全員で体験	全員で体験	全員で体験
内容	かまどで実際に薪を燃やし、羽釜に張った水を沸かし、出来た炭を用いて七輪で火をおこします。	手押しポンプで水を汲み、たらいと洗濯板で日本てぬぐいを洗濯する。その後、張り板に干します。	基本の「真むすび」を学んだ上で、座布団・木箱・紙筒など形状の異なる物を包み、運搬します。
使用道具	トタンかまど・羽釜・火吹き竹・十能・七輪・団扇	手押しポンプ・手桶・たらい・洗濯板・日本てぬぐい・張り板	風呂敷（大中小）・木箱・座布団・紙筒・本・紐
実施場所	屋外	屋外	屋内（講堂）
班編成	最大4班（1班 10名程度）	2人1班	4人1班（2人1組×2）
体験手順 (45分)	① 説明・注意 5分 ② かまどで湯沸し 20分 ③ 七輪で火起こし 15分 ④ まとめ 5分	① 説明・注意 5分 ② 水を汲み運ぶ 15分 ③ 洗濯をする。 10分 ④ すすいで干す 10分 ⑤ まとめ 5分	① 説明・注意 10分 基本の包み ② 色々な包み 20分 ③ 運搬 10分 ④ まとめ 5分
備考	<u>事前に上記の班編成に班分けをして来館して下さい。</u> 火を使う体験なので、万が一のために裾や袖口の広がった服装やスカートの着用は避けるようにご指導願います。 ご希望の場合は七輪で餅を焼く体験ができます。なお、参加者分の餅は各学校でご用意いただいておりますので、ご了承ください。 体験で使用する「火吹き竹」は消毒済のものを使用し、衛生面に配慮いたしております。	<u>事前に上記の班編成に班分けをして来館して下さい。</u> 水を使いますので濡れてもかまわない服装でご参加下さい。 外での体験ですので、寒い日は防寒具の用意をお願いします。 水温が低いため、アレルギーなどの児童がいる場合はご相談下さい。	<u>事前に上記の班編成に班分けをして来館して下さい。</u> 屋内で行いますので、天候の心配は全くありません。

※体験学習中、引率の先生方には児童の気づきや疑問などをひろい、より深い学びができるよう指導をお願いいたします。

4. 備 考

- ・体験学習は曜日ごとに体験できるコースが異なります。水・木曜日にお申し込みの場合は、学校単位で希望する体験学習の内容を忘れずにお選びください。（火曜日と金曜日は自動的にかまど体験となります。）
- ・使用する道具はすべて博物館側で用意します。体験後には適宜消毒を行います。
- ・全コースについて博物館側担当1名、アシスタント数名程度で対応いたします。解説や全体の進行は博物館側で行いますが、児童の安全管理や指導は原則的に引率の先生にお願いします。
- ・博物館では安全管理の全責任を負いかねますので指定された引率者数は必ず確保してください。
- ・当日はスムーズな進行のため、班分け等事前準備をお願いします。
- ・体験学習はよほどの荒天でない限り、雨天決行の予定です。

IV. 申し込み方法

本便に封入した申込書類一式は、当館ホームページ（下記 URL）からもダウンロードできます。ホームページに関しては、10月9日付の庁内ポータルのお知らせにもリンクを添付しておりますので、ご参照ください。

□来て！見て！知って！昔のくらし特設ページ：

<https://www.city.kita.lg.jp/museum/learn/1020783.html>

1. 申込〆切 10月23日（木）17時 <必着>

※先着順ではありません。〆切日までにお申込み下さい。

※希望しない場合も、申込用紙に ☒ を入れて、お送り下さい。

2. 申込方法 FAX または メールでお申し込みください。

（FAX）03-3916-5900

※送信時にはFAX 送信の旨、お電話ください

（時間 9：00～17：00、TEL03-3916-1133）

（メール）hakubutsukan@city.kita.lg.jp

件名に「くらし展申込（●●小学校）」と入力し、送信してください。

3. 記入事項 下記の①～⑤をきれなくご記入下さい。

①学校名 ②申込者（3年生ご担当の先生）

③電話&FAX番号 or 担当教員のメールアドレス

④希望日（第1希望～第3希望を、必ずご記入下さい。）

※A・B・Cいずれかの実施パターンを選択し、その所要時間に合わせて時間を記入してください。

※水・金曜日に申込の場合は、希望する体験学習を忘れずにご記入ください。

⑤参加人数（引率者の数は「担任＋1名以上」でお願いします）

4. 結果通知 10月24日（金）（FAXまたはメールにて通知）

・他校と希望日時が重なった場合は、第1希望から順次抽選します。

・第3希望まで抽選にもれた場合は、結果通知とともに空き状況をお知らせします。2次募集にて、再度お申し込み下さい。

2次募集

申込期間：1次募集の結果到着後～11月6日（木）<必着>

結果通知：11月7日（金）〔予定〕

V. お問い合わせ

北区飛鳥山博物館〔月曜休館・祝日の場合は直後の平日休館〕

担当 事業係：鈴木（すすき）・工藤（くどう）

TEL 03-3916-1133 FAX 03-3916-5900

E-mail hakubutsukan@city.kita.lg.jp